

一人一台のタブレットもしくはパソコンを児童全員に配付（貸与）し、デジタル機器の活用能力や資質・能力の向上を図ろうとする「GIGA スクール」構想は、このコロナ禍により大幅に前倒しとなった。

亘理町でもタブレットや電子黒板・校内無線LANなどの整備が進んでいる。本格的に授業に活用できるようになるのは、おそらく令和3年度からになるだろうか。

今までオンラインゲームや動画サイトなどでタブレットを使ったことのある子供たちも多いだろう。これからタブレットが授業や家庭学習に使われる機会が増える。デジタル機器、インターネットの世界が、学びを大きく変える日はすぐそこにきている。

まさにパラダイムシフト（これまでの価値・方法が劇的に変革すること）であり、学校や教師の意味や役割もどうなっていくのか、大きな期待と不安が入り交じっているのが本当のところである。

心配なのは、GIGA スクールの加速に家庭のインターネット環境が追いついていくかどうか…。水道、電気、ガスに続いて「Wi-Fi 環境」が『第4の家庭インフラ』だと言われ始めた。動画やギガ消費の大きいコンテンツを使うには高速の Wi-Fi 環境は必要になると思われる。（通信方式が 4G から 5G になってきているけれど、まだ完全ではないし…）

私の自宅近くのコンビニの前で携帯ゲーム機をいじっている小学生の集団は、15 分間だけ無料のコンビニ Wi-Fi を有効に？利用していた。う～ん…。

